

## 令和7年司法試験 合格体験記

令和6年度修了(既修コース) 鶴岡 里菜

この度、令和7年度司法試験に合格しました、20期既修の鶴岡里菜と申します。

私は、岡山大学法学部を早期卒業し、岡山大学大学院法務研究科既修コースに進学しました。

法学部の先生方、法務研究科の先生方、先輩方、同期や後輩の皆さん、家族等本当に沢山の方々に支えていただいたからこそ合格することが出来たと日々感じております。本当にありがとうございました。

私が在学生の皆さんにお伝えしたいことは二つあります。

一つ目は、授業の予習課題や課外ゼミの課題について、出来よりも効率を意識してほしいということです。具体的には、それぞれの課題に割り当てられる時間をあらかじめ設定し、その設定した時間内で処理するように心掛けることで、出来にこだわりすぎず、効率よく処理することが出来ると思います。大学院で求められる全ての課題について完璧に処理しようと思うと、分からない問題があった時に何時間もその問題に費やし、その結果自己の勉強スケジュールが大きく崩れてしまう危険性があります。授業は、分からないところを分かるようにするためにあるので、予習段階で完璧にする必要はありません。予習ではあくまで自分が分からない箇所を認識する程度にとどめ、授業を聞いて理解し、次に同じ問題が出た時に間違えないようにすることが大切だと思います。

二つ目は、悩みを1人で抱え込まず、先生や先輩方、同期などの周りの人に相談してほしいということです。司法試験の勉強は、非常にストレスがかかるものであり、自分の勉強法が司法試験合格に向けた勉強法として本当に正しいものなのか等といった悩みが生じることも多々あると思います。そのような時に、1人で解決しようとするのではなく、合格した先輩方や先生に積極的に相談してほしいと思います。私自身も、何度も先輩方や先生に面談等をしてもらいながら悩みを解決していきました。このように気軽に相談が出来るのは少人数制をとっている岡大の強みだと思うので、その強みを皆さんの夢の実現の為に積極的に利用して欲しいと思っています。

最後になりますが、皆さんの司法試験合格を心より願っております。